

五感の翼
を広げよう

iichiko
総合文化センター
大分県立美術館

総合情報誌

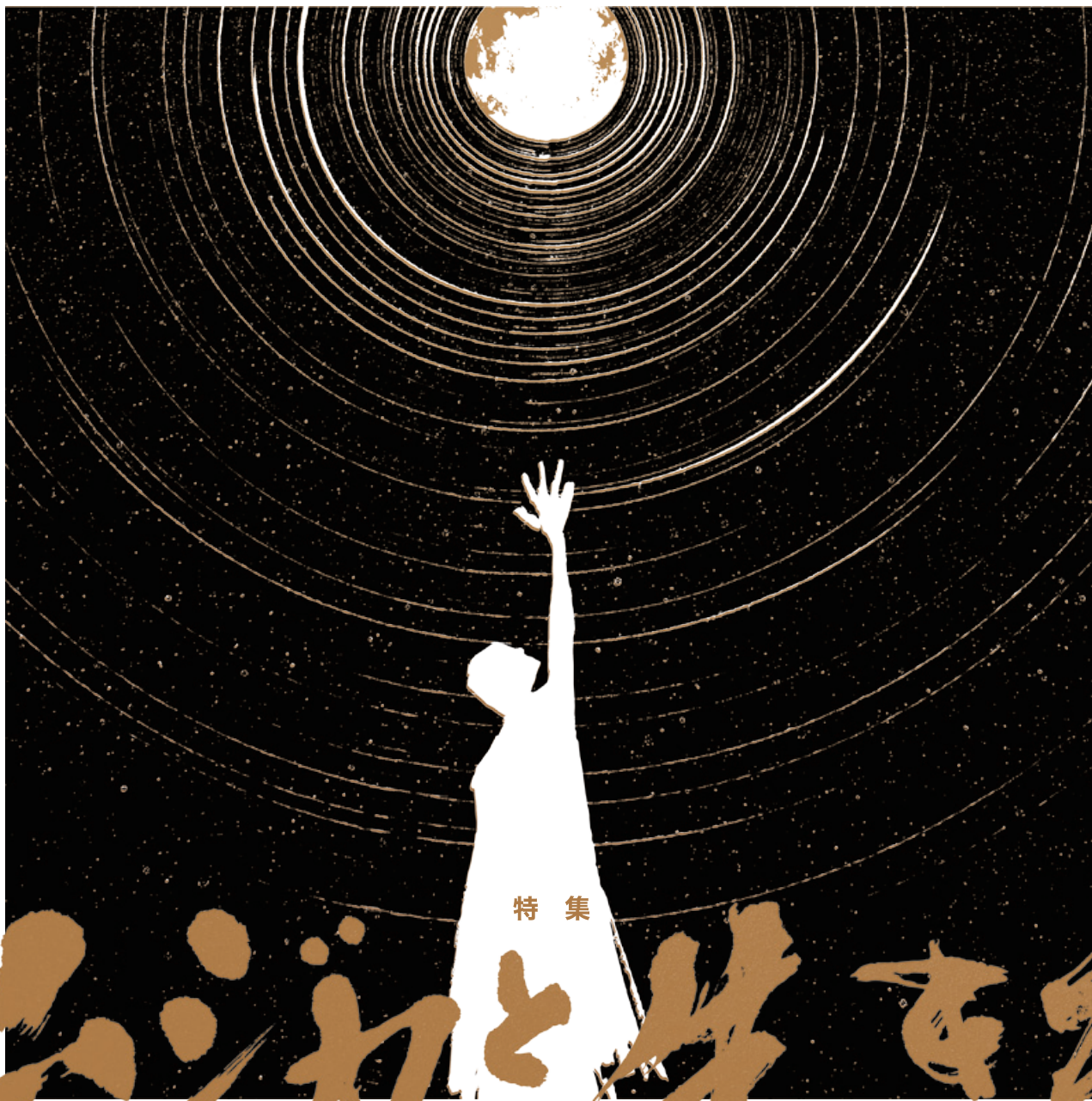
2022
SUMMER

97

Take Free

東アジア文化都市2022大分県閉幕行事

西洋音楽発祥の地プロジェクト—創作舞台



特集

ふたかど生楽

Content

バッハ・コレギウム・ジャパン ブランデンブルグ協奏曲 全曲演奏会

日生劇場ファミリーフェスティバル 2022 NHKみんなのうたミュージカル リトル・ゾンビガール

国立国際美術館コレクション

現代アートの100年 ハロー、アート!世界に夢中になる方法

大分県芸術文化スポーツ振興財団
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

ペトロ・カスイ・岐部と大友宗麟
二人の「想い」が交わる時：奇跡が起こる

石橋直也

脚本・演技指導
ペトロ・カスイ・岐部役



大分の史実に基づき
フィクションを織り交ぜた
舞台を楽しんで欲しい

戦国時代、キリシタン大名の大友宗麟は、音楽が溢れる平和な世界を理想郷として「ムジカ」と呼んだ。西洋音楽発祥の地である大分の歴史や文化をテーマにした、県民と創り上げる創作舞台「ムジカと生きる」を上演。主演のお二人にその思いをお聞きしました。

今まで知らなかった
宗麟像や岐部像が
見えてきた

田中なずな

ムジカ役



— 石橋さんは脚本を書いていますか、思い入れのあるシーンはありますか？

石橋 脚本を書くうえで、大分の歴史を勉強させていただき、専門家の方々の案内で各地を巡り、そこでいろんなエピソードを聞きました。史実に基づいたエピソードがたくさん散りばめられているので、そこは思い入れというか、見どころでもありますね。

— 苦労した点がありますか？

石橋 史実ですかね。僕が感じたもの・見たもの・知ったものを、いわゆるフィクションに落とし込み、物語を構築しています。その部分が大分の歴史でもあるので、脚本を専門家の方々に確認を取りながら書き直していったのですが、その作業は大変でした。史実に基づくと、それこそムジカなんて登場しないし、宗麟さんと岐部さんのエピソードなんてもうほほ残っていないので、そこはフィクションの力を借りなければいけない。リアルなものってフィクションの狭間をどんな塩梅にするかというのは難しかったです。

— 田中さんは大分出身ですが、大友宗麟やペトロ・カスイ・岐部などの歴史などは知っていましたか？

田中 私は学生の頃、大分の歴史にまつわる舞台などに出ることも多かったのですが、地元民として多少の知識はありました。でも先日、大友宗麟、ペトロ・カスイ・岐部のゆかりのある地などを巡り、専門家の方々からお話を伺って、今まで自分が知らなかった宗麟像や岐部像が見えてきましたし、その空気を五感で感じることや、地元の人たちがどれだけ彼らを愛しているかまで感じることができて、本当に勉強になりました。

— 脚本で好きなシーンはありますか？

田中 一つ挙げるとするならば、ムジカと岐部が手を繋いで、「豊後の国」の景色がブワァッと周りに広がるというシーン。岐部がローマに渡る道中、豊後のことを懐かしく思い広がる景色で、私も上京して1年半くらいなんですけど、遠く離れたところについて故郷を思い出す、岐部の気持ちに共感しました。

先日、大友宗麟が築城した丹生島城を巡ったのですが、城から街や海の景色を見た瞬間「豊後の国」が目の前に広がるような感覚がして、現地に行ってみないとその時の匂いや温度などは分からないな、と感じました。その時の感覚をあのシーンで取り込んでいけたらなと思って思いますし、

舞台美術や映像、衣裳、照明などによってあのシーンがどういう風に出上がるのか、今からとても楽しみです。

— 石橋さんはご自身の演じるペトロ・カスイ・岐部役をどう捉えていますか？

石橋 諦めない不屈な精神、強い人だったんでしょね。孤独ではあるんですけど、常に信じるものがあつたから、孤独を孤独として感じなかったんじゃないかなと思うんですよ。だから孤独を力に変えるというか、寄り添って生きた、そういうイメージですね。出生の国東を訪れたのですが、空とか海とか緑とか、美しかったんですね。場所が違うところも輝いて見えるんだ、みたいな。きつとこういう所で海を見ながら育つたから、強くてきれいなまっすぐな地平線を見ている眼差しのように、まっすぐに物事を見たんだろうなと感じましたね。

— 田中さん演じるムジカのイメージは？

田中 ムジカは自分が何者かも分からず、求める人がいたらそこに現れて…ムジカもまた孤独な存在だなと感じています。いろんな場所を巡っているんな方の話を聞き、ムジカってどういう存在なのだろう、どう演じようと思いついてる部分もあります。もう少し自分の中で台本を読み込んで、突き詰めていけたらなあと思っています。

— 最後に、意気込みを聞かせてください。

石橋 僕は九州の大衆演劇で生まれ育ちました。生まれしたのは鹿児島でしたが、聞くところによると次の日にはもう福岡にいき、その後大分に移動したらしいので、本当

創作舞台

ムジカと生きる

西洋音楽発祥の地プロジェクト

に3番目のふるさとみたいな気持ちでいるんです。そういう思い出深い大分の地で脚本を書かせていただいて、ペトロ・カスイ・岐部という大きな役を演じることができて、とても光栄に思っています。一生懸命務めたいなと思っているので、ぜひ生きてほしい。心からそう思います。

田中 3年ぶりにふるさとの舞台に立つので、本当にうれしいです。しかも自分の青春が詰まったこの「iichiko kōguranシアタ」の舞台！大分の魅力もたくさん伝わる作品だし、舞台をきうかけに聖地めぐりもしていただきたいですね。プロフェッショナルな方々が力を集結し、舞台上にどんな「豊後のまち」などの「ムジカと生きる」の世界観を創り出すのか、私自身も楽しみです、皆さんにも楽しんでいただきたいです。



DATA チケット一般発売 8/9(火)

西洋音楽発祥の地プロジェクト
創作舞台「ムジカと生きる」

11/6(日) ▶ iichiko グランシアタ

※16:00開演 ※[全席指定] S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円、25歳以下各席半額 ※3歳以下入場不可 ※総合監督/穴井豪、作曲/音楽監修/藤原道山、出演/石橋直也(ペトロ・カスイ・岐部)、田中なずな(ムジカ)、椎原克知(大友宗麟)、嘉目真木子(マリア波多)、大分県芸振メンバー、指揮/森口真司、管弦楽/大分県立芸術文化短期大学「ムジカと生きる」特別オーケストラ、合唱/津久見裡の実少年少女合唱団

大分県立美術館 2022コレクション展Ⅲ「生命の輝きを求めて」
9/16(金)~11/13(日) 休展日10/12(水) ▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室
大分の地に花開いたキリシタン文化を紹介します。公演と合わせてお楽しみください。詳細は10ページをご覧ください。

主催・お問合せ:iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]
Tel: 097-533-4007、NPO法人大分県芸振Tel:097-536-0522

バッハの音楽は人生そのもの！

J.S.バッハの「ブランデンブルグ協奏曲」全曲演奏会が行われます。演奏するのは、日本から世界へバッハ音楽を発信し続けている、「バッハ・コレギウム・ジャパン」(以下BCJ)。指揮者の鈴木優人氏に本公演の見どころを伺いました。



指揮 鈴木優人

「ブランデンブルグ協奏曲」について、その魅力をお聞かせください。

「バッハについては皆さん知っているかと思いますが、精力的な作曲家で、いろんなジャンル曲をたくさん書いています。その中でオーケストラのための曲、つまり歌詞がなく楽器だけで演奏する曲で有名な作品の一つが、この「ブランデンブルグ協奏曲」。全6曲、全て違う楽器編成で書かれています。書いたバッハ自身は楽しいかもしれないし、聴く方もバラエティがあつて面白いかもしれません。演奏する方は結構大変で、1曲のためだけに参加する人もいます(笑)。6曲それぞれにいろんな楽器が出てきますし、編成から工夫が凝らされている曲です。

「バロックや古楽、古楽器の魅力についても、お聞きしたいです。」

「ブランデンブルグ協奏曲」は、バッハがケーテン(ドイツの都市)で教会音楽や宮廷音楽を担当していた頃作った曲で、その頃の集大成的な作品なのかなと。BCJでは、当時どんな楽器、ピッチで演奏されていたかを探りながら、これまでいろんなピッチで録音してきました。探求していく中で、自然とバッハの空気に近づくと、この音楽の持っているキラキラした心をなしか表現しやすくなる。この曲に必要とされる音色、親密な雰囲気などは、今の楽器よりも、古いスタイルの楽器を使う方が演奏しやすいです。例えばヴァイオリンだったら弦の素材が違ったりします。そんな楽器の違いもあるんですが、私たちが一番大切にしているのが、バッハの遺したものとどう対峙するかというところ。楽器を変えただけじゃなく、当時のスタイルを追求することで、現代においてより生き生き演奏できると考えています。古楽器は、モダン



© Ayumu Kakamu

楽器だけをやっていた人がパツと持ち替えてすぐに弾けるようなものではなく、そのために研究と熟練が必要なんです。もちろん才能豊かな人はすぐに弾けるようになりますが、難しいのはむしろ頭の切換え。そこも含めてBCJの価値だと思っています。

「最後に、楽しみにしている皆さんにメッセージをお願いします。」

お酒が好きなメンバーが多いので、終演後にホテルで「いちごを飲むことも多いんです(笑)。今回「iichiko」が「ブランデンブルグ協奏曲」で演奏できることが楽しみです！僕らも大分の良い所をたくさん吸収して楽しもうと思うので、皆さんも生でしか分からないバッハの音楽を、体いっぱいに取り込んでいただき、ますます健康な人生を送っていただけたいと思います。僕にとつてバッハの音楽は人生そのもの！その音楽を聴くと楽しいとかワクワクするというだけでなく、今まで悩んでいたことがより高いレベルで解決する、そういった気持ちやひらめきを与えてくれる音楽だと思っています。そういう意味で人生を豊かにする音楽だと信じているので、今まで聴いたことがない方はぜひ騙されたと思って聴いてもらえたらと思います。

チケット一般発売 7/28(木)

DATA
西洋音楽発祥の地プロジェクト
バッハ・コレギウム・ジャパン
ブランデンブルグ協奏曲 全曲演奏会
10/6(木) ▶ iichiko グランシアタ

17:45開場、18:30開演 [全席指定] S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、U25割各席半額
指揮: 鈴木優人、演奏: バッハ・コレギウム・ジャパン
iichiko総合文化センター [(公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団] Tel: 097-533-4004

iichiko グランシアタ ジュニアオーケストラ フェスティバル 2022

今年も開催!
ジュニアオーケストラを
体験できる楽しい夏フェス

たくさんの楽器が重なり合い、一つの音楽を奏でるオーケストラ。その楽しさを体験し、演奏会にも参加できるワークショップ形式のフェスティバルを今年も開催!

7/30(土) ・オーケストラ紹介と楽器体験(初心者)
・課題曲レッスン(経験者)
※参加申込は7/10(日)まで

7/31(日) ジョイントコンサート
30日に参加した子どもたちが、団員と一緒にiichikoグランシアタのステージでコンサートを体験します。

DATA
iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ
フェスティバル2022
ジョイントコンサート
7/31(日) ▶ iichiko グランシアタ

13:00開演 [全席指定] 無料 ※要チケット
曲: パッヘルベル/カノン、オッフェンバック/喜歌劇「天国と地獄」序曲 ほか
チケット取り扱い: iichiko総合文化センター1Fインフォメーション、同HP

iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ 団員座談会

昨年、「ジュニアオーケストラフェスティバル」に参加したことがきっかけで入団を決めた5人にフェスティバルの感想や、入団の決め手などを話してもらいました。



花夏さん(ヴァイオリン)、山口真矢さん(ヴァイオリン)、村津市之助さん(ヴァイオリン)、工藤翔矢さん(チェロ)、キム優夏さん(ヴァイオリン)

「昨年フェスティバルに参加した感想を教えてください。」

工藤さん: 僕は元々このジュニアオーケストラにヴァイオリンで入っていたのですが、「ステージの正面から見る客席はどんな景色だろう」と気になり、中学から始めたオーボエで参加しました。実際ステージに立ってみて、お客さんの顔を見ながら演奏するのがいいなあと思いました。

村津さん: 今まで1人で弾いていましたが、大人数で合わせたらすごく楽しかったです。



山口さん: フェスティバルでは、オーケストラの一員として初めての合奏を母やお客さんに聴いてもらい、うれしかったです。

優夏さん: 私も大人数で演奏する経験をしたことがなかったので、とても感動しました。

花夏さん: 見たことのない楽器や聞いたことのない楽器、音色の分からない楽器もたくさんあったので、いい経験になりました。

「入団の決め手は?」

村津さん: 合奏が楽しかったから!

山口さん: 私も大人数での演奏が楽しかったからです。

工藤さん: 高校に入学したら入ろうと決めていたのですが、自分のペースで練習ができるオーケストラがいいなあと思いました。

花夏さん: たくさんの人がいて勉強になると思ったし、いい先生に巡り会えそうだったからです。



優夏さん: 先生が一人ひとり細かいところまで見てくれるところが決め手でした。

「実際に入団してみてどうですか?」

優夏さん: たくさんの友達も作れたし、みんなと心をつなげることができてうれしくて楽しいです。

工藤さん: オーボエはソノ口などもあるんですが、ほかのパートとの掛け合いが



多いので、それが楽しいです。隣で演奏する芸短生からアドバイスをもらったり、いろんな音を聴いたりするのが勉強になります。

山口さん: みんなで練習をして演奏をすると、達成感があって楽しいです。

花夏さん: 合奏が楽しいし、上手い人がたくさんいて、勉強になります。

村津さん: 合奏が楽しいですね。

「最後に今年は団員として参加者を迎える側ですが、どんな気持ちですか?」

山口さん: 分からないことに対して優しく教えてあげて、このオーケストラに「入りたい」と思ってもらいたいです。

村津さん: 仲良くしたいし、参加者のみんなと一緒に楽しみたいです。

花夏さん: 親切に教えたいし、一緒にお客さんに音楽を届けたいです。

優夏さん: 困っていることがあったら優しくしてあげて、フェスティバルに出演できてよかったと思ってもらえるように一緒に頑張っていきたいです!

工藤さん: 自分も学べたり成長できるようなものになりたいなと思います。



NHK みんなのうた ミュージカル

リトル・ゾンビガール

NHK「みんなのうた」の名曲を散りばめたミュージカル 新たなキャストを迎え、再始動!

NHK「みんなのうた」から選ばれた、世代を超えて愛される名曲とともにお届けする、大人から子どもまで、みんなで楽しめるオリジナル・ミュージカル! 2020年の公演延期から2年。新キャストを迎え大分へ。ノノ役の高橋ひかるさんと、ショウ役の石井杏奈さんに公演に対する思いなどをお伺いしました。



高橋ひかるさん(ノノ役)

石井杏奈さん(ショウ役)

▲3月7日制作発表での歌唱披露(千代田放送会館)



ショウ



ノノ

——お二人はミュージカル初挑戦ですが、印象に残っている作品やミュージカルの魅力はどこにあると思いますか？

高橋 初めて生で見たミュージカルが『CHICAGO』で、目の前でコロコロと表情が変わって、歌や踊り、二つ一つの動きに目を奪われたのが印象的でした。魅力は、一緒に歌や踊りを楽しんで自分の身体を動かすことで、物語の一部になれるところですね。

石井 音楽とお芝居とダンスの融合。その3つの要素を掛け合わせて物語を伝えるという、とても魅力的なエンターテインメントだと思います。

印象に残っている作品は『ローマの休日』。以前ドラマで共演した土屋太鳳ちゃんが主演をされていたのですが、歌っている印象がなかったのが、こんなに輝いているんだという感激が、今は刺激に変わって、あの時の太鳳ちゃんを思い出して私も頑張ろうと思っています。



リリイ



親分

イラスト:スズキトモチ

高橋 共演者の方々の印象は？

高橋 歌唱披露イベント直前のリハサルで初めて顔を合わせたのですが、みなさん歌っているときの目が輝いていて、緊張していた私の心も和らぎました。初めて合わせたと思えないほど一体感を感じることができて、素敵な作品をお届けできることを確信しました。

石井 とても良い雰囲気の人だと思っています。初めてみんなで歌を合わせたときに「歌の力がすごい」というのを痛感したので、このメンバーで物語をつづっていくのが楽しみです。

高橋 みなさんが鑑賞後、幸せな気持ちや笑顔に、そして小さな問題から社会問題に対しても、善悪と向き合うことができきるきっかけになれば嬉しいです。

石井 この作品は友達や仲間の大切さだったり、生きていくうえで一人じゃなにもできなくて、友達や仲間がいることで自分が成長していく、ということがメッセージとして込められて

——最後に、ご来場の皆さまへメッセージをお願いします！

高橋 皆さんに元気をお届けしに参ります!ぜひ、会場に遊びに来てください!

石井 大分公演は舞台が始まって1か月後くらいになるので、お芝居なども固まってきたと思います。大分のみなさんの力でまた違う『リトル・ゾンビガール』をお楽しみ、そして元気とパワーと勇気をお届けできるように頑張ります!

音楽の魅力発見! レクチャー付き オーケストラ コンサート

誰もが知るドヴォルザーク作曲の『新世界より』を題材に、オーケストラや交響曲の魅力を見つめ、レクチャー付きコンサートを開催。指揮をとる森口真司教授に見どころをお聞きしました。

——先生には過去にベートーヴェンやチャイコフスキーをレクチャーいただき好評を得ていますが、今回はオーケストラ付きという豪華なレクチャーですね。

レクチャーでは、有名曲をポイントと何曲か短く並べて、解説することが多いのですが、今



指揮者 森口真司
(大分県立芸術短期大学教授)

ドヴォルザークの
不思議な謎をあぶり出す!?

回はただ紹介するのではなく、前半は九州交響楽団の演奏とグランシアタのスクリーンを使い、後半は名曲中の名曲をまるまる全部聴いていただきます。

——この曲を題材に選ばれた理由は?

「新世界より」はとても有名な曲で、本当によく演奏されます。あまりに有名すぎて「今

さら」とか「知ってる!」と思われる方もいるかと思いますが、ドヴォルザークは、凝り性な作曲家で、作品にはいろんな秘密が隠されています。専門家は知っているけど、一般的には意外と知られていない秘密などをあぶり出して

ね。このような秘密を紹介できたら面白いし、よく知られた曲でも見方や聴き方が変わってくると思います。かみ砕いて紹介するので、初心者にも分かりやすいと思いますし、コアな内容もでてくるのでクラ

シック愛好家にも楽しんでもらえると思います。

——九州交響楽団との共演も楽しみですね。

超一流のオーケストラと一緒にレクチャーをするので、素晴らしい最高の作曲家の本当に面白いところを紹介し、楽団の生の音で同時進行的にレクチャーをやっていくので、楽しみにしてもらいたい。U25割(25歳以下)もあるので、夏休みだし、若い人もぜひ。ドヴォルザークの魅力は今まで以上に感じていただけたらうれしいですね。

DATA
レクチャー付き
オーケストラコンサート
8/19(金) ▶iichikoグランシアタ

■18:15開演、19:00開演 ●[全席指定] S席3,000円、A席2,000円、U25割半額 ●指揮/森口真司、管弦楽/九州交響楽団 曲/ドヴォルザーク/交響曲第9番『新世界より』
■iichiko総合文化センター〔(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団〕Tel:097-533-4004

DATA 日生劇場ファミリーフェスティバル 2022
NHKみんなのうたミュージカル リトル・ゾンビガール 9/17(土) ▶iichikoグランシアタ

■13:15開場、14:00開演 ●[全席指定] S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円、U25割 各席半額、膝上鑑賞無料(3~5歳のみ、保護者1名につき1名まで)
※6歳以上有料、3歳未満入場不可 ●高橋ひかる(ノノ役)、石井杏奈(ショウ役)、エハラマサヒロ(クルス役)、石田佳名子(ハル役)、コング桑田(親分役)、大和悠河(リリイ役)ほか ●iichiko総合文化センターTel:097-533-4004

主催・お問合せ:iichiko 総合文化センター〔(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団〕、公益財団法人ニッセイ文化振興財団〔日生劇場〕



国立国際美術館コレクション 現代アートの100年

The Collection of The National Museum of Art, Osaka: 100 Years of Contemporary Art

→ OPAM

2022年6月11日[土]—8月21日[日] 大分県立美術館 | 1階 展示室A

10:00—19:00 | 金曜日・土曜日は20:00まで | 入場は閉館の30分前まで

会場 大分県立美術館 | 1階 展示室A
主催 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
国立国際美術館
共催 TOSテレビ大分

6.11-8.21

「ハロー、アート!」
世界に夢中になる方法

関連イベント

ART IN FOCUS

Vol.2 レクチャー「現代美術をコレクションする」

7/23(土) 13:30~15:00

サウンド・インスタレーションやパフォーマンス作品といった多様な形式の現代美術をコレクションすることの意義や、収蔵に至るまでの経緯など、国立国際美術館の舞台裏をお話いただきます。



植松由佳

会場:大分県立美術館 2階 研修室
講師:植松由佳
(国立国際美術館 学芸課長)
定員:80名

お申込み
お電話(097-533-4500)またはapp@opam.jp
へ、件名にイベント名、メール本文にお名前とご連絡先をご記入の上お申込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

HELLO,ART

7/30(土) 18:00~

「ハロー、アート」は現代アートを身近に楽しむためのトークシリーズ。美術以外のジャンルからゲストをお招きしたり、アートブックを使って意見を交わしたり、アートの見方をひらく会です。

会場:大分県立美術館 1階 展示室A
担当:木藤野絵(大分県立美術館 主任学芸員)
定員:15名程度
参加費無料(※要展覧会観覧券)、申込不要・当日参加可

アンディ・ウォーホル 版画集「マリリン」
1967
©2022 The Andy Warhol
Foundation for the Visual Arts, Inc./
ARS, NY & JASPAR, Tokyo E4558

DATA

国立国際美術館コレクション

現代アートの100年

「ハロー、アート! 世界に夢中になる方法」

6/11(土)~8/21(日)▶大分県立美術館 1階 展示室A

時 10:00~19:00 ※金・土曜~20:00 一般 1,200(1,000)円、大学・高校生1,000(800)円 ※()内は有料入場20名以上の団体料金 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

「国立国際美術館」が収蔵する国内外の作家たちの名品が勢揃い。ポール・セザンヌにはじまり、ヴァシリー・カンデンスキー、マルセル・デュシャン、アンディ・ウォーホル、さらには草間彌生や森村泰昌、奈良美智まで、大きく変容する100年余りの美術の流れを4つの章で巡ります。会期中にはさまざまな関連イベントが盛りだくさん! アートを通して世界に夢中になる、本展がそんなきっかけになれば幸いです。

ギャラリートーク

7/16(土)、8/13(土) 14:00~15:00

会場:大分県立美術館 1階 展示室A
参加費無料(※要展覧会観覧券)、申込不要・当日参加可

OPAMサマースペシャルプログラム アトリウム無料展示

スズキユウリ“LOOKS LIKE MUSIC”

8/6(土)~21(日)

ロンドンを拠点に活動するサウンドアーティスト・スズキユウリによる参加型のインスタレーション。紙に線と色を描いてカラーチェイサーというミニカーを走らせると、あなただけの音の世界が生まれます!子どもから大人まで、気軽に音とアートの出会いをお楽しみください。



Photo:©Hitomi Kai Yoda



スズキユウリ Photo:©Mark Cocksedg

会場:大分県立美術館
1階アトリウム

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントの形式や募集人数等変更が生じる場合もございます。あらかじめご了承ください。

「大分県芸術文化スポーツ振興財団」×「ウェールズ国立博物館」 友好交流に関する覚書締結のお知らせ



基本合意書



左から廣瀬専務、御手洗理事長、田沢館長



アンダーソン館長

令和4年3月25日に大分県芸術文化スポーツ振興財団とウェールズ国立博物館は、大分県とウェールズ政府間での「友好交流に関する覚書」(令和4年3月1日締結)に基づき、「大分県立美術館」と「カーディフ国立博物館」との相互理解を深め、将来にわたり友好的な交流を推進していくことで合意し、MOU(基本合意書)を締結しました。

MOU締結の概要

- 日時 2022年3月25日(金) 18:30(日本時間)
締結者 大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 御手洗 康
ウェールズ国立博物館 館長 デイビッド・アンダーソン
出席者 大分県芸術文化スポーツ振興財団
専務理事 廣瀬 祐宏 大分県立美術館 館長 田沢 裕賀
ウェールズ国立博物館 企画外務部長 マノン・エドワード・アヒル
立会人 大分県 国際政策課 主幹 山崎 基広
ウェールズ政府
内閣府国際交流課 スチュアート・リドン
日本代表事務所 上級外務担当官 小堀 洋子
その他 Webによる締結式

特に次の3点について協力関係を始めます

- 1 両館の学芸員他の人的交流
- 2 所蔵する芸術作品の調査研究での連携
- 3 お互いの芸術作品を紹介するための
展覧会等について可能性調査

ウェールズ国立博物館 <https://museum.wales/>

ウェールズ国立博物館は、ウェールズにある以下の7つの国立博物館で構成されています。各地の特色ある博物館で、ウェールズの歴史・文化・芸術・産業などを学ぶ機会が提供されています。

- ・カーディフ国立博物館(カーディフ)
- ・セントフェイガンズ国立歴史博物館(カーディフ)
- ・国立スレート博物館(スランペリス)
- ・国立羊毛博物館(ドレバハ・ベリンドレ)
- ・ビッグピット国立石炭博物館(ブレナヴォン)
- ・国立ローマ軍団博物館(カリアン)
- ・国立ウォーターフロント博物館(スウォンジー)



カーディフ国立博物館 <https://museum.wales/cardiff/>

ウェールズ国立博物館を構成する7つの博物館における、中核的な博物館。首都カーディフの中心部に1907年に設立され、現在では自然科学と芸術の幅広いコレクションが展示されている総合博物館です。

1階は、ピクバンから氷河期までの進化をたどる自然史の展示スペースであり、隕石や月岩石、恐竜やマンモスなどを展示。ウェールズと世界各地からの動植物を集めた展示室には、ウバザメ、ザトウクジラの骨格、世界最大のオサガメなどが展示されています。

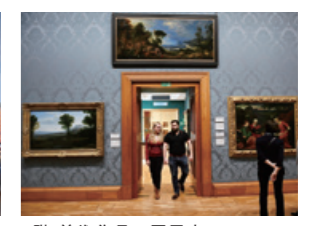
2階は、500年の歴史にわたる絵画、デッサン、彫刻、陶器などの美術コレクションが展示されています。近現代美術の展示スペースはウェールズ最大の規模。特に人気が高いのは、世界に誇る印象派のコレクション。モネ、マネ、ルノワール、ロダン、ドガ、セザンヌなど、パリの美術館以外では最も充実した展示となっています。他にも、リチャード・ウィルソン、トマス・ジョーンズやウィリアム・ゴススム・ジョン卿などのウェールズ出身の芸術家の作品、そして英国ビクトリア朝時代のラファエル前派の作品や、英国の風景画も展示されています。



カーディフ国立博物館の外観



1階 自然史系の展示室



2階 美術作品の展示室

お問合せ: 大分県立美術館 097-533-4500

大分県立美術館 2022 コレクション展

大分県立美術館は、大分県立芸術会館が37年間にわたって収集してきた約5,000点にのぼる作品や資料を引き継ぎ、至宝として保管しながら、コレクション展等を通じて紹介するとともに、その魅力を広く国内外に向けて発信します。

コレクション展 II

冒険する美術 -色・形・素材への挑戦-

7/15(金)~9/12(月) 休展日 8/10(水)

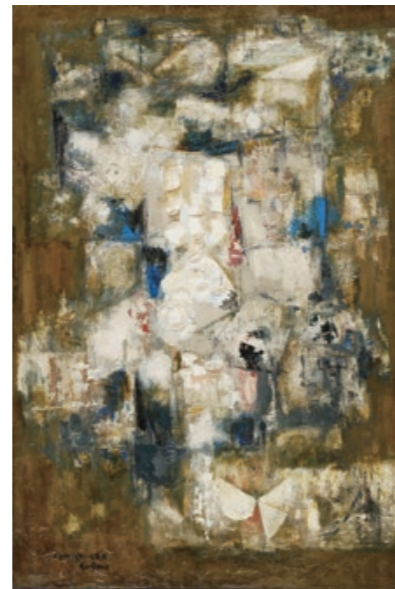
本展は、開催中の企画展「国立国際美術館コレクション 現代アートの100年」にあわせて、日本の戦後美術の流れや1950年代から1980年代頃を中心とした大分の作家たちの動向をご紹介します。さまざまな美術思潮が海外から押し寄せた時代。激動する美術界で現代作家たちが果敢に挑んだ色、形、素材への好奇心と挑戦をお楽しみください。

ギャラリートーク

7/24(日)、8/7(日)、21(日)、9/4(日)、11(日)

各日14:00~15:00 ※予約不要・要観覧券

※ギャラリートークの予定は変更になる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。



白野文敏(田園B)1959年

コレクション展 III

いのち 生命の輝きを求めて

9/16(金)~11/13(日) 休展日 10/12(水)

生きるとはなにか。多くの美術家たちは、この問いと向き合いながら創作を続けてきました。生誕110年を迎える高山辰雄を中心に生命の神秘や輝きを独自の手法で表現した作品を紹介します。また、特集展示として大友宗麟とフランシスコ・ザビエルの出会いがきっかけで大分の地に花開いたキリシタン文化を紹介します。

関連イベント

大友宗麟とキリスト教 ムジカを夢みて

講師 … 大津祐司(元大分県立先哲史料館館長)
日時 … 9/17(土)14:00~15:30
会場 … 大分県立美術館 2階 研修室
参加費 … 無料(要事前申込)
定員 … 40名

お申込み

お電話(097-533-4500)またはapp@opam.jpへ、件名にイベント名、メール本文にお名前とご連絡先をご記入の上お申込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

「創作舞台 ムジカと生きる」

11/6(日) ▶iichikoグランシアタ
西洋音楽発祥の地である大分の歴史や文化をテーマにした創作舞台を上演します! 詳細は1、2ページをご覧ください。

ギャラリートーク

9/25(日)、10/16(日)、11/6(日)

各日14:00~15:00
※予約不要・要観覧券

※ギャラリートークの予定は変更になる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。



高山辰雄(食べる)1973年

時 10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで) 料 一般300(250)円、大学・高校生200(150)円 ※()内は有料入場20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※高校生は土曜に観覧する場合は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ※開催中の企画展半券提示で1枚につき1回無料でご覧いただけます 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

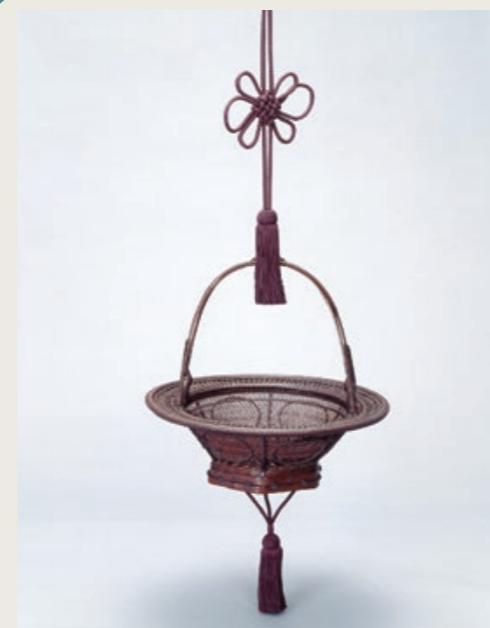
どんな展覧会?

大分県立美術館は、当県ゆかりの美術家の作品を中心とした5000点を越えるコレクションを収蔵し、年間を通じてコレクション展や企画展で紹介しています。中でも竹工芸で初めて人間国宝となった本県出身の生野祥雲齋(1904-74)の作品76点(寄託20点)を軸とした約300点からなる県内外の竹工芸作品は、質・量ともに国内最大級のコレクションとして知られています。

おおいたの芸術作品をこの機会に



《紫竹器局》
大正-昭和期 此君亭コレクション



早川尚古齋(四世)《釣花籠》1931(昭和6)年 大分県立美術館

Adoration of Bamboo

Special Feature of Oita Bamboo Art and History

此君礼賛

しくんらいさん

おおいた竹ものがたり

vol.4&5

しくんらいさん
此君礼賛とは?

当館では、竹工芸を大分ならではの文化風土から生まれた主要な地域文化資源と位置付け、コレクション展における特集展示「此君礼賛-おおいた竹ものがたり」をシリーズとして開催しています。タイトルの「此君(しくん)」とは竹の異称で、中国・晋の文人・王子猷が「なんぞ一日も此の君無かるべけんや」(一日たりともこの君なしではいられない)と竹を深く愛した故事に因みます。

この特集展示(R4年度はvol.4、5の2回開催)では、竹工芸の歴史や特徴を様々な角度からご紹介するため、毎回わかりやすいテーマを設定しています。多様に展開してきた竹工芸の魅力をぜひじっくりとお楽しみください。

DATA

vol.4「アジアの竹工芸」

7/15(金)~9/12(月) ※休展日:8/10(水)

vol.5「唐物の竹工芸と文人画」

9/16(金)~11/13(日) ※休展日:10/12(水)

▶いずれも 大分県立美術館 3階 コレクション展示室

時 10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで)

料 一般300(250)円、大学生・高校生200(150)円

コレクション展の観覧料でご覧いただけます。

大分県立美術館 Tel:097-533-4500

感性育成事業

ワークショップ開催!

音楽 × 美術

iichiko総合文化センターと大分県立美術館では、「音楽と美術の融合」というテーマのもと、子どもたちに芸術文化を鑑賞・体験してもらう機会を作る感性育成事業を行っています。アーティストの学校訪問による「音楽と美術のワークショップ」と、子どもたちを両館に招待する、「展覧会・コンサート鑑賞、ワークショップ体験」で構成されたプログラムです。1回目と2回目は学校にて作品を制作。最終回となるこの日は集大成となるコンサートを開催しました。

開催日 2022/3/7(月)

最終回

今回参加してくれたのは
大分市立碩田学園 2年生 120人

GOAL!



4 集大成のコンサートを開催!

iichikoグランシアタで行われたコンサート「音を描く、絵を奏でる」では、講師の鈴木広志さん、小林武文さん、中島さち子さんが、子どもたちの作品やそれを制作している様子からインスピレーションを得てそれぞれが作った曲を披露しました。ステージ上には、制作風景が映し出され、子どもたちはその時の様子を想い浮かべながら、曲調や使用する楽器が違う三者三様の楽曲に体を揺らしたり、手拍子をしたりしながら聴き入っていました。

お昼ご飯をはさんで、
いよいよ次はコンサート!
みんなの作品が
どんな曲になるのかな?

中島さち子
ピアノ/作曲

鈴木広志
サクソフォーン/作曲

小林武文
パーカッション/作曲

iichiko総合文化センター 大分県立美術館
子どもたちへ
～芸術文化の学校連携～

特別編

START!



1 iichiko総合文化センターに到着!

最初に館内での注意事項、また両館の構造や、iichikoグランシアタホワイエにある宇治山哲平さんの絵の紹介やクイズがあり、子どもたちは元気よく手を上げて答えていました。

大分県立美術館



2 コレクション展見学

OPAMガイドスタッフの皆さんと一緒にコレクション展「ボタニカル・ガーデン」を鑑賞。子どもたちは気になる絵があると積極的にガイドさんに話しかけ、「近くから見るとボコボコして面白いわ!」「角度によって見え方が違う」など感想を話しながら作品を見ました。

iichiko音の泉ホール



3 ミニコンサート&バックヤードツアー

生演奏をより近くで感じてもらうと、特別にステージ上で開催! チェロを初めて見た子どもも多く、子どもたちの間を歩きながら演奏するサプライズもあり、終始目を輝かせて聴き入っていました。そのあとはiichikoグランシアタの舞台裏や楽屋を見学。普段入ることのできない場所に緊張しつつも、楽しめた様子でした。

いよいよ!

おおいた障がい者芸術文化支援センター REPORT

2022.7.2 ~ 8.31 gallery MAPO 「伊藤瑞穂、岩川日向子」



▲伊藤瑞穂「お母さん」



▲岩川日向子「無題」

自閉症の方の生きがいを大切に、やりがいがある活動を考えて実践している生活介護事業所「なごみ工房」(豊後大野市)から、アート活動に取り組むお2人に出展いただきました。人との交流が大好きな2人の絵には、自分や家族、施設職員、芸能人やキャラクターなど、様々な登場人物が描かれています。それぞれの心の世界をぜひ感じてみてください。

参加費無料
要事前申込

今後の開催予定

オープンアトリエ in コトブキヤ駅南 ▶コトブキヤ駅南店(大分市要町5-24)

障がいのある人もない人も一緒に創作活動ができるオープンアトリエを今年も開催いたします! 絵の具やペン、紙など、様々な画材を用意しています。高校生以上のどなたでも参加可能ですので、是非ご参加ください。

■対象:高校生以上 ■定員:各10名(先着順)

申込み・問合せ おおいた障がい者芸術文化支援センター
☎097-533-4505(平日9:00~17:00) mail: artbrut-oita@emo.or.jp

開催日

前半:7/10,8/28,9/11
※申込受付終了
後半:10/9,12/11,1/8,2/12
※8/8(月)より申込受付開始

◎いずれも日曜日の13:00~15:00



INFORMATION

ホール利用休止のお知らせ

iichikoグランシアタ及びiichiko音の泉ホールについて、大分県が天井の耐震改修工事を実施いたします。このため、右記期間、両ホールの利用を休止いたします。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

利用休止期間

2023年4月1日
▼
2024年5月(予定)

EVENT

Oita Hall Navi おおいたホールナビ [大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報]



たいけん!
伝統文化ワークショップ!

7/31(日)
【開始】13:00 【終了】15:00

【料】参加料無料(要事前申込)
【内容】①茶道②華道③日本舞踊 各10名
※対象:小学1年生~6年生
【所】中津文化会館小ホール/音楽練習室
【問】中津文化会館 ☎0979-24-1155
【助成】令和3年度第一次補正予算事業
子供たちの伝統文化の体験事業

鼓童
ワン・アース・ツアー2022~童

9/18(日)
【開演】14:00 【終演】16:00

【料】一般5,500円、友の会5,000円、
高校生以下3,000円(全席指定)
【出】鼓童
【所】バトリア日田 大ホール(やまびこ)
【問】バトリア日田 ☎0973-25-5000

八神純子×
TAKETA室内オーケストラ九州
Premium クロスオーバー Concert
in 宇佐

9/18(日)
【開演】15:00 【終演】17:00

【料】一般6,000円(全席指定)
【出】八神純子、
TAKETA室内オーケストラ九州
【所】宇佐文化会館 ウサノピア 大ホール
【問】宇佐文化会館・ウサノピア
☎0978-33-3100

※やむを得ない事情により公演内容が変更となる場合があります。詳しくは各館にお問合せください。



iichiko総合文化センター 大分県立美術館

子どもたちへ

～芸術文化の学校連携～

4月23日(土) カオカオ・ミュージアム

大分県立美術館

“コシノジュンコ「原点から現点」”にあわせ、関連ワークショップを行いました。ユニークなお面づくり「カオカオ・ミュージアム」とアクリルパネルに描く「らっぶ・らっぶ・すけーぶ」。たくさんの作品が出来上がりました！

iichiko総合文化センター

センターでは、子どもたちに本物の音楽や舞台公演の鑑賞機会を提供する取り組みを、企業からの支援などにより、学校や地域と連携して行っています。今回は、その中のアウトリーチ活動(おでかけクラシックコンサート)についてご紹介します。

今回は 2月8日(火)/宇佐市立深見小学校

初めてのアウトリーチ活動となる湯布院出身のギター奏者・松本富有樹さんが、全校児童26人の入場を多目的ホールでお迎えしました。オープニングはギター曲として有名な「禁じられた遊び」。戦争映画に使用されていたこの曲に、平和への願いを込めて演奏しました。

この日は、制作年代の違う3本のギターで、現代からバロック音楽までの4世紀にわたるプログラム。1本目のクラシックギターで、自身の師事したブラーボ先生作の「川」を演奏。初めて見る種類のギターが、子どもたちには物珍しく、新鮮に映ったようです。2本目は約200年前に制作されたという、先ほどより少し小ぶりのギター。シューベルト作の「愛の使い」では、軽やかなリズムと優しい音色で自然と体が揺れ、「今日の曲の中で一番好きだった！」という

感想があがるほどでした。最後に登場した400年前のバロックギターで演奏されたのはコルベッタ作の「プレリュードとチャッコーナ」。このギターは柔らかな音色で子どもたちから1番人気のギターに！

新しいギターが登場するたび、子どもたちは弦の本数や装飾など、個性豊かな違いを思い思いに発表し、盛り上がりを見せました。さらに、ギターが弾かれていた当時の絵画や、より近くで見えるようにと子どもたちの間を歩きながらの演奏で、目でも耳でも楽しめた様子。最後は、コンサートの終わりを惜しむように、山田耕筰作の「この道」で締めくくりました。

子どもたちに感想を聞くと、大半が立ち上がり「知らない曲だけ楽しかった」「どれもきれいな音色だった」「いろんな種類のギターを見ることができて良かった」と話していました。

アーティスト



まつもと 富有樹 松本富有樹さん/クラシックギター

バンド活動をきっかけにギターを始め、20歳から8年間のスイス留学を経て、2019年より国内での演奏活動を始めました。初めてのアウトリーチ活動に際し、学年も違う子どもたちへの演奏に不安もありましたが、間近で見る子どもたちの反応や感想が面白く、コンサートの意義を実感しました。今後も生の音楽を聴いてもらうことを大事にして、さまざまな種類のギターの魅力を知ってもらえるように活動していきたいです。



OPAM Art club OPAM美術部、活動中!



美術部マネージャー 西村 文佳

2/26(土) OPAM美術部コンサート

～「美術」と「音楽」と「数学」のドッキング!～

1月23日に開催予定だった「OPAM美術部コンサート」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期。まん延防止等重点措置解除後の2月26日に、待ちに待ったコンサートが開かれました。ステージは「iichikoアトリウムプラザ」のど真ん中! 粘土オブジェ、切り紙細工など今までワークショップで制作した作品たちが舞台を彩りました。来場者には部員たちの作った缶バッジがプレゼントされ、美術部のワークショップで作品を制作する時に演奏した曲と、その時にできた作品から生まれた新曲を演奏。最後はみんな手をたたいての大盛り上がりでした。令和3年度の美術部はこれで終了。また新しい美術部が6月から発足しますので、みなさんお楽しみに!

4月24日(日) らっぶ・らっぶ・すけーぶ

まずはみんなで“コシノジュンコ「原点から現点」”を鑑賞。「赤と黒がかっこいい!」など、みんな作品に興味津々。発見や驚きの表情が顔に浮かぶ様子も印象的でした。その後、いよいよ創作スタート。自分の好きな2色を選んで、心の風景をアクリルボードにペインティングしていきます。手でのぼしたり、絵の具を撒き散らしたり…色は交じり合っってどんどん変化。この日もコシノジュンコさんが遊びに来てくれて、みんなビックリ! 個性溢れる作品が数多く誕生しました。



鈴木広志 サクソフォン



小林武文 パーカッション



中島さち子 ピアノ

2022年度も活動開始!

“OPAM美術部”2022年度も活動開始!今年度のテーマは「素材と技術」。木・金属・布などたくさんの素材に触れながら、それぞれが感性を磨いています。今年度の活動にもご期待ください!

コンサートの模様はYouTubeからも見れるので、ぜひご覧ください。



びび的 Lifeスタイルのススメ



メンバーステージ
TAKASAGO

びび会員 石川千枝子さん (大分市在住)

「KOTOBUKI」の会員で、無料鑑賞や割引が付くので、それまで「あまり好みじゃないな」と思い込んでいた展示やコンサートなどにも、気軽に行くことができます。講演会や内覧会などの案内も来るので、参加している人たちの話が聞けたりするのもとても楽しいです。今日は「コシノジュンコ展」の内覧会でしたが、解説が聞いて面白かったですね。2019年にOPAMで開催された「江戸浮世絵の黄金時代」の展示のときは、大好きな北斎が自分の住む大分で見られてうれしかったです。ほかにもたくさんの有名な浮世絵が一堂に集結していて、とても感激したことを覚えています。これからもどんどん「びび」を活用していきたいと思っています。



◀「江戸浮世絵の黄金時代 The Ukiyo-e 歌川派 一豊春から国芳、広重まで」。美しいものから怖いものなど…見ごたえありました!



◀チラシは記録としてファイリング。思い返すのも楽しみの一つ

粗品を差上げます このコーナーに出てくださいるびびメンバーを募集しています。■申し込み先…097-533-4025もしくはメールbivi@opam.jpにて

お得がいっぱい!

大分県芸術文化友の会

びびメンバー大募集!

びびとは、大分県立美術館(OPAM)とiichiko総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。最新情報が届くメールマガジンの配信のほか、有料会員になると様々な特典が。コンサートや展覧会などをお得に楽しめます。

●メンバーステージと年会費

KOTOBUKI	TAKASAGO	UME
10,000円	5,000円	2,500円

●有料会員特典内容の一例

特典1 先行予約ができる チケット割引がある

iichiko総合文化センターが主催、共催または指定する公演のチケットが一般発売前に10%割引等メンバー価格で購入できます。
KOTOBUKIメンバーはセンター主催公演のチケットが15%割引となります。

特典2 無料鑑賞がある

KOTOBUKI・TAKASAGO 会員は主催企画展やコレクション展が無料。

特典3 特別な動画が観られる

音楽や美術の専門家による講座や過去の公演など、iichiko総合文化センター・大分県立美術館のここでしか観られない動画を観ることができます。閲覧には動画サイト「びびVision」への登録が必要です。

特典4 駐車場券進呈

KOTOBUKI …………… 25時間(5,000円分)
TAKASAGO …………… 10時間(2,000円分)の駐車場券を進呈します。

特典5 各種サービスがある

「びびshop」で割引やプレゼントなどの特別サービスが受けられます。「OPAM Museum Shop」でも5%割引(一部商品を除く)となります。

◎入会は随時受け付けています。
◎メンバーカードは、会費の納入を確認後、1~2週間後に郵送いたします。
◎いったん納められた会費の払い戻しはいたしません。
◎特典内容はメンバーステージによって異なります。

表紙のワード「五感の翼」とは?

「芸術文化ゾーン」とは、iichiko総合文化センターと隣接する大分県立美術館とで構成された空間のことを指します。両施設は翼をはばたかせるように連携して、美術と音楽等幅広い分野の芸術文化の融合と、新しい価値の創造などの活動を展開しています。こうした感性・創造性を磨く「芸術文化ゾーン」を皆様を知っていただきたい、そういう思いから「五感の翼」をコンセプトワードにしています。



●問合せ・申込先
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
大分県芸術文化友の会 びび
〒870-0029 大分市高砂町2-33
E-mail bivi@opam.jp
tel.097-533-4025 / fax.097-533-4050

びび友の会

https://emo.or.jp/bivi/

